

理解し合い 支え合う 地域社会

～多文化共生の視点から～

「今を生きるみんなでつくる 誰もが自分らしく生きられるまち」をテーマに、多様性を尊重し合う視点からまちづくりについて考えてみませんか。

開催日

2025年
(令和7年)

11 / 15 (土) 13:30-15:30
(受付13:00から)

会場

伊那市役所1階 多目的ホール

参加費

無料

どなたでもご参加いただけます

講師のご紹介

みやがさこ

りさ

宮ヶ迫ナンシー理沙さん

伊那市集落支援員 多文化共生推進
翻訳者/通訳者、語学講師、ライター



ブラジル生まれの日系2.5世。1991年に来日し、神奈川県で育つ。大学在学中から横浜・川崎で外国にルーツをもつ子どもたちの学習支援活動に携わり、卒業後は通信制高校を運営する会社に勤務。2007年には、外国ルーツ日本育ちの友人たちとともにドキュメンタリー『Roots of Many Colors』を制作。その後、かながわ国際交流財団の任期付き職員として県内の多文化共生事業に従事。大学院修了後、ブラジルへ渡り、現地邦字新聞の記者やW杯・リオ五輪の現地取材コーディネーターとして活動し、ブラジル社会や日系コミュニティへの理解を深めた。2021年に長野県へ移住。現在は伊那市の集落支援員として、地域における多文化共生の推進に取り組んでいる。執筆に『ブラジルから来て20年。「日本育ち」の子どもに寄り添うミヤワキ・シズカさんの挑戦』（ニッポン複雑紀行、2023年）などがある。

問い合わせ先

伊那市 地域創造課 人権男女文化共生係



0265-78-4111 (内線2157)



jkz@inacity.jp

もったいないをありがとうに

フードドライブに
ご協力ください

詳しくは裏面をご覧ください

フードドライブを行います

「フードドライブ（食品寄付活動）」とは
各家庭等で使い切れない未使用食品を持ち寄り、フードバンクを通じて必要
としている個人や団体に寄贈する活動です。

ご寄付いただいた食品は、伊那市社会福祉協議会「フードバンクいな」を通
じて食料支援を必要としている世帯や子どもの未来応援隊の活動、福祉施設
等は無償で提供されます。

家庭等で使い切れない、未使用食品を当日お持ちください

**【受付時間】 13:00-13:30 【受付場所】 伊那市役所1階
市民ホール**

集める食品について



<守っていただきたい条件>

寄付いただく食品は、次の条件を満たす食品とさせていただきます。

- 賞味期限が明記（砂糖、塩を除く）され、2か月以上あるもの
- 未開封のもの
- 包装や外装が破損していないもの
- 生鮮食品以外の常温保存できるもの
- 日本の食品表示ラベルのあるもの（アレルギー対策のため）

ー具体例ー

缶詰（ツナ、フルーツ）など

乾物（のり、わかめ、しいたけ、凍み豆腐）など

乾麺（スパゲティー、カップ麺、袋麺、うどん）など

調味料（醤油、味噌、砂糖、食用油、カレールー、シチュールー、マヨネーズ）など

レトルト（スパゲティーソース、カレー、各種丼、炊き込みご飯の素）など

その他（お菓子、餅、飲み物、小麦粉、インスタント食品、フリーズドライ食品）など

